

「うみかぜセミナー：発達障害と歩む」のご案内

滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクトでは、子どもたちの健やかな育ちを応援するため、さまざまなとりくみをおこなっています。発達心理学、栄養学、助産学分野の研究をはじめ、母子支援活動を進めて、子育てに携わっているみなさんと幅広く連携していきたいと考えています。その一環として、このたび、「うみかぜセミナー：発達障害と歩む（全4回）」を開催することになりました。本セミナーでは、主に保育士や教員、臨床発達心理士など子育て支援にかかわる方々を対象に、「保育と発達支援の専門性」を高める研修の場となることをめざしています。上記専門職以外で関心をお持ちの方々のご来聴も歓迎いたします。

＜セミナー実施日程＞（第2回の会場は滋賀県立大学人間文化学部 DO-202 室、13時30分～15時30分）

第1回 2010年 9月25日（土）宮崎信恵監督作品「あした天気になる？ 発達障がいのある人たちの生活記録」上映会
助言者 川崎昭仁氏（社会福祉法人ひかり福祉会たんぽぽ作業所センター長）

第2回 2010年11月13日（土）赤木和重氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授）講演
「自閉症教育で大事にしたいこと：『障害特性に応じた教育』再考」

第3回 2011年 1月29日（土）木下孝司氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）講演
「乳幼児期の発達と障害をもつ子どもの保育・療育」

第4回 2011年 3月 5日（土）石川憲彦氏（林武の森クリニック院長）講演「『発達障害』の医療：効用と限界」

第2回は下記の内容でおこないます。

自閉症教育で大事にしたいこと：『障害特性に応じた教育』再考

赤木和重氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授）

講師プロフィール

京都大学教育学部から滋賀大学大学院教育学研究科修士課程、神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程を修了し（博士・学術）、三重大学教育学部勤務を経て、本年10月から上記の所属となりました。専門は発達臨床心理学。子どもにおける自己とコミュニケーションの発達を研究テーマとし、主として自閉症を対象とした研究に取り組んでこられました。自閉症への早期支援のあり方についてもさまざまな教育プログラムの特徴を「人間発達」の視点から吟味してこられました。本講演では、改めて何を大事にして自閉症教育をすすめていけばいいのかについて、具体的な子どもの姿や保育、教育の実践例を踏まえてお話しいただきます。

《著書》

- 赤木 和重・佐藤 比呂二「ホントのねがいをつかむ—自閉症児を育む教育実践」
全国障害者問題研究会出版部
- 赤木 和重・社会福祉法人コスモス「見方が変われば願いが見える—
保育・障害者作業所の実践を拓く」クリエイツかもかわ



日時：2010年11月13日（土）13時30分～15時30分

会場：滋賀県立大学人間文化学部 DO-202 参加費：無料（事前登録も必要ありません。）

▼ JR南彦根駅からバスで13分/タクシーで8分

▼ JR彦根駅からバスで16分/タクシーで10分

主催：滋賀県立大学人間文化学部・
滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクト
後援：日本臨床発達心理士会関西支部

＜問合せ先＞ 滋賀県立大学子どもの未来応援プロジェクト

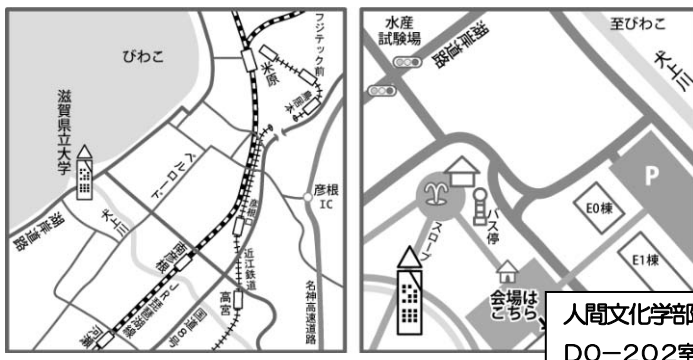
〒522-8533 彦根市八坂町2500

滋賀県立大学人間文化学部 竹下秀子研究室気付

Tel: 0749-28-8444 Fax: 0749-28-8559

E-mail: usp-umikaze@nifty.com

URL: <http://umikaze.sub.jp/kodomo/home.html>



人間文化学部
DO-202室